

令和2年度 地域のまちづくりびと講座

緑区徳重支所の「ユメリア徳重開設10周年事業として行う「緑区まちづくりスキルアップ塾（徳重塾）」を共催で行い、これをもって令和二年度の「まちづくりびと講座」としています。

第1回目

日時:令和2年11月1日(日)

時間:13:00~17:30

場所:ユメリア徳重
4階地区会館体育室

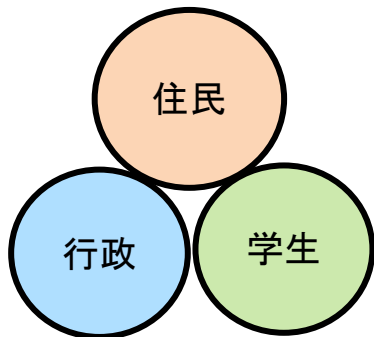
講師:釘山健一さん

小野寺郷子さん

(一般社団法人会議ファシリテーター普及協会
代表・副代表)



「楽しい雰囲気・いいムードの中で対話をしたほうが、成果がでる！」そんな講師のモットーのもと今回の連続講座は、毎回テーマを変えて、会場の飾りつけをします。第一回は「ハロウィン」。今後、どのような飾りつけが出てくるか、お楽しみに！！



そして、本講座の一番の特徴は、何と言っても参加者が「住民・学生・行政」の三者で構成されていること。多様な塾生たちが、一緒に語り合い、あふれるアイデアから、緑区でできる具体的な活動を実践することを目指します。そのふれこみの通り、第一回目は、住民17人、学生11人、行政9人で、開催されました！

第一回は「対話による協働のまちづくりのスキルを学ぶ」というテーマで、両講師の笑いを交えたお話しと、楽しいムードの中、まちづくりに必要な「対話」について学びました

アイスブレイク



対話に欠かせない笑顔。アイスブレイクでは、色々な笑顔の写真を見ながら、「これは何パーセントの笑顔かな？」と、みんなで考えました。そして最後に、最先端の「笑顔測定技術」（そんなのがあるんですね！）で計測した、100%の笑顔の写真を見ました。自然で好感が持てる・・・それが、良い笑顔なんだとみんな確認しました。

ファシリテーターとは?!～釘山先生の講座を受けた方のその後の活躍～

P T A会合や、自治会連合会・・・そんな場において、受講された方が「楽しい会議」を主催・運営している様子を、写真などで見せていただきました。

「わたしたちも、あんなふうにできるようになるかしら」という面持ちで話を聴く受講生のみなさん。6回の講座を終えた後の、みなさんの変化が、楽しみです！



まちづくりって何？



講座の本題では、「まちづくりって何？」というテーマでワークをしました。

「（ ）こと。具体的には（ ）に参加すること」と書かれた紙に思い思いの答えを書き込みます。

答えは一つではありません。ここでは、釘山先生は、言葉の定義の大切さについて、語られました。「どんな答えでもいいけれど、バチっと答えられる一言をもっておくこと。これが、まちづくりに参加していない人にわかってもらうためには、大切です。

最先端のまちづくり～協働～



先ほどのワークに続き、「最先端のまちづくり」について、考えます。

自立？会議？頑張る？課題解決？そんなキーワードに対し、「古い」ものであると、「脱却」を促します。それに対して最先端は・・・みんな、真剣に考えて、括弧をうめていきます。

地域の住民にとどまらず、その地域に興味のある人も含め、色々な人と、一緒にやる。それが最先端である「協働」のまちづくり。この講座のキーになる言葉です。いろいろな人が、対話の場で思いを語り合う。そんな楽しい場からうまれてくる、夢実現型のまちづくり。これからのまちづくりは、こんな楽しいものだということを、みんなで確認しました。